

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	中国文化	
科目基礎情報							
科目番号	0018		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	情報工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	日中いぶこみ広場 朝日出版						
担当教員	張 紹好						
到達目標							
1.発音、ピンインをマスターする。 2.基本文法と基本単語を理解できる。 3.日常の会話表現を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	標準的な発音ができ、ピンインを読んで書ける。		標準的な発音ができ、ピンインを読める。		標準的な発音も、ピンインも読めない。		
評価項目2	基本的な文法事項と単語を理解して、会話に応用できる。		基本的な文法事項と単語を理解できる。		基本的な文法事項と単語を理解していない。		
評価項目3	日常に多用される会話表現を理解し、会話に応用できる。		日常に多用される会話表現を理解できる。		日常に多用される会話表現を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育プログラムの科目分類 (1)② JABEE (2012) 基準 1(2)(a) JABEE (2012) 基準 1(2)(f) 教育プログラムの学習・教育到達目標 2-3 教育プログラムの学習・教育到達目標 4-3 本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標 4-b							
教育方法等							
概要	第二外国語中国語のコミュニケーション能力に必要な基礎文法知識を習得する。						
授業の進め方・方法	発音、会話を中心に練習し、基本会話へと進みます。教師が範読をします。自己紹介、会話と歌の練習、発表もします。あと日常会話での決まり文句を中心に練習し、暗唱します。						
注意点	①本科目は学修単位〔講義Ⅱ〕科目であるため、指示内容について210分程度の自学自習（予習・復習）を欠かさないこと。 ②授業中の聞き、話す、コミュニケーションの対話などが何度も音読すること。 ③学生の学習状況によって内容を調整することがある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1. 基礎発音練習Ⅰ		□ ①ピンイン表記の原則 ②母音 ③子音＋母音 ④声調（四声）		
		2週	2. 基礎発音練習Ⅱ		□ ①有気音と無気音 ②複韻母 ③鼻音を伴った韻母		
		3週	3. 文の組み立て（名詞述語文）		□ 名詞述語文を理解し、正しく使用することができる。		
		4週	4. 文の組み立て（指示代詞）		□ 指示代詞を理解し、正しく使用することができる。		
		5週	"5. 文の組み立て（形容詞述語文） 6. 復習、応用問題ほか		□ 形容詞述語文の組み立て、形容詞を理解し正しく使用することができる。 授業項目1～5について復習する。		
		6週	7. 文の組み立て（助詞）		□ 助詞「的」を理解し、正しく使用することができる。		
		7週	8. 存在表現Ⅰ		□ 数詞、量詞や語法を理解し、正しく使用することができる。		
		8週	9. 存在表現Ⅱ		□ 存在動詞を理解し、正しく使用することができる。		
	4thQ	9週	10. 時間表現		□ 時刻、日付、曜日の言い方や語法を理解し、正しく使用することができる。		
		10週	11. 文の組み立てⅠ		□ 肯定文、否定文を理解し、正しく使用することができる。		
		11週	12. 文の組立てⅡ		□ 疑問文、反復疑問文、選択疑問文を理解し、正しく使用することができる。		
		12週	13. さまざまな表現		□ さまざまな表現を正しく使用することができる。		
		13週	14. 可能表現Ⅰ		□ 可能の「能」を理解し、正しく使用することができる。		
		14週	15. 可能表現Ⅱ 16. 総合復習、応用問題ほか		□ 可能の「会」を理解し、正しく使用することができる。 □ これまでに学習した重要表現を正しく使用することができる。		
		15週	答案返却・解説		各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する（非評価項目）。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	(-10)	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0